



### 加賀市より望む鞍掛山

鞍掛山（くらかげやま・477.71m・二等三角点）は、石川県小松市と加賀市にまたがる山で古来から江沼三山と呼ばれ、大日山、富士写ヶ岳と並び、敬られてきた山の一つです。江戸時代から明治にかけて日本海を航行した北前船や漁船などの有視界航行で目印になった山でもあり、かつては「舟見岳」とも呼ばれていました。

その山の姿は顕著な又耳峰で海上からもその姿が目印になり名付けられたと云われています。

地質学的には、約 1500 万年前の火山活動で生成された山です。山体を形造っているのは主に「流紋岩」や「流紋岩質火砕岩」と一部真珠岩（パーライト）で生成されています。麓の「滝ヶ原」で採掘されている「滝ヶ原石」は、火山の噴火の際降り積もった火山灰が固まった「凝灰岩」です。

植物は標高 500m までも達しない低山ながら、山地帯上部の植物

その登山道は加賀市側から「加賀塔尾新道」「塔尾道」「鶴ヶ滝道」小松市からは「西ノ谷道」「中の谷道」「行者岩道」「水谷道」「主谷道」さらに「三童子山、鞍掛山縦走路(スカイライン)」等と多くの登山路があります。一般的には小松市滝ヶ原町からの「西ノ谷登山道」がメインルートで下りには近年開かれた急坂が少なく安全な「行者岩登山道」がよく使われています。

The map illustrates the hiking trails around Mount Aomori (477.71m). It shows the city of Aomori (青森市) and the surrounding area, including the Aomori Bay Waterfront Center (石川島内水面遊歩センター). The map highlights the starting points (登山口) for various trails, such as the Aomori Bay Waterfront Center (石川島内水面遊歩センター), Aomori Bay Waterfront Center (石川島内水面遊歩センター), and Aomori Bay Waterfront Center (石川島内水面遊歩センター). The map also includes a compass rose and a scale bar.

## 「 加賀市からのコース 」

### 〔 鞍掛山・加賀とのお新道 〕

加賀市塔尾町から「鞍掛山へ」の標識にしたがい林道を約 2Km 行き、産業廃棄物処理場(元採掘場)を過ぎ、すぐ左手に林道の分岐が有り、ここが「加賀とのお新道」の登山口です。登山口には数台車を止められるスペースがあります。

ここから左の林道(よそ谷林道)を 20mばかり行き、鞍掛山への標識を見て右手の小道に入ります。送電線の巡視路です。

谷沿いの路を 10 分あまり歩き、やがて山腹に取り付きひと頑張り送電線の鉄塔(236m標高点、うらじろ平)に着きます。眺望が良く最初の休憩によい所です。ここから尾根に沿った路を行います。コナラ、ミズナラ、アセビ、ソヨゴ、マルバマンサク等の林の中の心地よい路です。

所々に眺望の開ける場所が有り、右手には大日山、左手には加賀の平野部が望めます。

鉄塔から 50～60 分行き少し急坂を登ると後山(南峰)の山頂です。

後山山頂の付近には「獅子岩」の景勝もあります。

ここから左手に行き、縦走路と合流し、更に左手に行き鞍部の小屋を経由して行くと、ほどなく**鞍掛山山頂**です。

「コースタイム」(上り)塔尾町～(林道 2Km、徒歩 30 分～登山口～(登山路約 0.8Km20 分)～送電線鉄塔～(登山路約 1.5Km60 分)～後山～(登山路約 0.3Km10 分)－鞍掛山山頂

[アクセス]JR 加賀温泉駅などから直通のバスは無く、マイカー、タクシー利用が良いでしょう。

(この登山道は平成 13 年から地元塔尾町、柏野町の協力の許に、加賀山岳会会員により開かれ平成 15 年開通した路です) マイクロバスは塔尾集落までです。



加賀とのお新道登山口  
(開通の頃)

### 〔 鞍掛山・塔尾コース 〕

塔尾集落からは従来このコースだけでした。「加賀とのお新道」と同じ林道を更に先に車を走らせると、林道の終点に着きます。

4～5 台の駐車スペースが有ります。

登山路は左手の谷に沿って始まります。滑り易いところも有り気をつけて行きましょう。最近「加賀おもいやり橋」が設置され、登りやすくなりました。20 分も登ると「鶴ヶ滝コース」と合流し更に急坂を登ると「三童子スカイライン」の稜線に出ます。左手に行き鞍部の小屋を経て 10～15 分で山頂に着きます。

加賀塔尾新道との周遊コースとして使うと良いでしょう。

「コースタイム」 登山口～ (20 分) ～鶴ヶ滝コース分岐～(25 分) ～山頂 「アクセス」 加賀とのお新道と同じです。

## 〔 鞍掛山・鶴ヶ滝コース 〕

登山口は、加賀市「荒谷集落」で左手の動橋川を渡り、神社の横を通りその先の「鶴ヶ滝遊歩道入口」の駐車スペースに車を留めます。近くには「石川県内水面水産センター」が有り特別天然記念物の「オオサンショウウオ」が飼われています。

谷に沿った遊歩道をしばらく進むと 2 条の大きな滝に着きます。「鶴ヶ滝」です。

滝の手前の左岸を登ると林道に出ます。滑りやすいので気をつけて下さい。駐車場からは最初から林道に行く方法もあります。

林道を 15 分ばかり行くと左手に橋が有り、ここから登山路になります。杉林の中をしばらく行くとやがて階段の急な登りとなります。ロープが設置されているので危険はありません。急坂を登りきるとなだらかになり、しばらく行くと塔尾コースと合流し、三童子スカイライン合流点、避難小屋を経由して山頂に着きます。以前は荒れた路でしたが、地元の人達の尽力で良く整備されていて鶴ヶ滝探訪と合わせれば楽しい登山となるでしょう。

「コースタイム」 駐車場～(10 分)～鶴ヶ滝～(15 分)～登山口～(40 分)～塔尾コース合流点～(30 分)～鞍掛山山頂

「アクセス」 公共交通機関が無いので、マイカーが良いでしょう。荒谷集落は前記「塔尾集落」から更に 2Km 余り動橋川の上流にあります。大型バス・マイクロバスは荒谷集落まで行けます。

## 「 小松市からのコース 」

### [ 鞍掛山・西の谷～行者岩コース ]

登山口は小松市滝ヶ原町の集落の奥に有り、マイカーで来ていただければ第一駐車場に約 30 台、第二駐車場に約 30 台の駐車場があります。公共交通機関利用の方は、ＪＲ加賀温泉駅よりタクシーで約 10Km、滝ヶ原集落の奥の「鞍掛山登山口」まで行けます。

鞍掛山登山のメインコースですので、多くの人が歩いている「行者岩コース」を下りに使う周遊プランを記します。まず駐車場を出発、林道を上手に行くとなぐさ林道は二手に分かれます。右手の林道を行くとすぐ左に小さな橋が有ります。橋を渡り杉林の下の登山路を行きます。やがてジグザグの路、更に小尾根をつめ急坂を登りつめると小さな台地に出ます。「舟見平」です。視界が開け平野部の眺望が満喫できます。

更に尾根を行くと「竜ノ脊」と呼ばれる岩がらみの急坂にかかり「西の谷コース」の最高の山らしい楽しい所です。展望もかなりよくフリクションのきいた岩場は低山ながら「山」を味わう最高のところ

です。途中緩やかな箇所をすぎ再び岩場の急坂を登り、やがて右手に緩やかなトラバース路を行くと山頂は近く、トラバース路から小さなジグザグを 8～9 回行くと**鞍掛山山頂**です。

山頂からは江沼平野から小松市、更に金沢市まで続く加賀平野全てと日本海まで一望に望め、ふり返れば東には白山、右に目を移せば大日山、更に『深田久弥』が少年時代初めて登り登山開眼をしたといわれる富士写ヶ岳も眼前に望めます。平野部の眺望も素晴らし

く、眼下に江沼平野や小松市、更に金沢市あたりや日本海まで眺められ、江沼最高の展望台です。

下山は主稜線を南に少し下り避難小屋と山の学校のある鞍部から左手に折れて下り、行者岩を經由して行きます。



### 滝ヶ原登山口(西ノ谷・中の谷・行者岩コース)

行者岩はこの山の 1500 万年前の海底火山による生成された歴史を語る数十メートルの高さの岩塔と行者が修行していたという伝説の洞窟があり石仏（千手観世音菩薩）が安置されています。近くに「仙人滝」の景勝もあります。

行者岩から急坂を僅かに下ると谷沿いの登山路となり更に行くと林道に出ます。林道を更にのんびり下ると登りに使った西ノ谷コースと合流しすぐに第一駐車場に着きます。

「コースタイム」第 1 駐車場～（西ノ谷コース・距離約 1.5Km・70 分）～鞍掛山～（行者岩コース・距離約 1.7Km・50 分）～第 1

## 駐車場

「アクセス」公共交通機関は有りません。タクシー、マイカーが良いでしょう。J R「加賀温泉駅・動橋駅」から登山口まで約 10Km です。大型バス・マイクロバスは登山口手前の滝ヶ原集落までです。

## 〔 鞍掛山・水谷コース 〕



第二駐車場手前、左の林道を行きます

この登山路は「滝ヶ原第二駐車場」から少し戻り右手の林道歩きから始まります。林道を約 40 分ほど歩くと、林道の終点に着きます。ここから右手の山腹を登ります。かなり急な路です。15 分ほどで「いっ

ぷく平」に出ます。更に 15 分ほど登ると「三童子スカイライン」の尾

根に出ます。右手に尾根の路を行くと 10 分ほどで「展望岩」に着きます。ここから鞍掛山が良く眺められます。

展望岩の下りは岩場で難渋しますが、近年手前からの巻路が出来たので、ここを行くと良いでしょう。

展望岩から更に行くと「鶴ヶ滝・塔尾コース分岐」「鞍部の避難小屋」を経由して 50 分くらいで鞍掛山山頂です。

距離は長いのですが、急坂は僅かしかなく、のんびり行けば愉し



いコースです。

「コースタイム」第二駐車場～(40 分)～林道終点～(15 分)～いっぶく平～(15 分)～スカイライン分岐～(10 分)～展望岩～(25 分)～鶴ヶ滝コース分岐～(15 分)～小屋～(5 分)～鞍掛山山頂

### 〔 鞍掛山・主谷(おもたに)コース 〕

このコースは滝ヶ原の集落を抜け、第一・第二駐車場に行かず、道路をまっすぐ行きます。途中右手に小さな公園があります。トイレがありますので鞍掛山の滝ヶ原コースを登る人は利用させてもらったら良いでしょう。

車はこの公園の駐車場に停めます。

ここから林道を歩きます。途中 30 分ばかり歩いた頃左手に「三童子コース分岐(足谷林道)」がありますがそのまままっすぐ歩きます。林道を更に 40 分歩くと終点に着きます。林道の奥の方に付けられた登山路から山腹を登り約 30 分頑張ればスカイラインの尾根に出ます。

ここから右手に行けば 30 分余りで「水谷分岐」に着きます。ここからは前記の「水谷コース」と同じです。

三童子山経由の登山では、途中の「足谷分岐」まで車を入れた方が良いでしょう。

### 〔 鞍掛山・中の谷コース 〕

小松市側からの登山道で現存するコースで一番古いコースです。登山口は「西ノ谷コース」と同じで滝ヶ原第一駐車場です。

駐車場から行き、すぐ右手に「西の谷コース」を分け林道をま

っすぐ行きます。約 300m、10 分ばかりで標識があります。

標識には山頂まで 1Km とあります。

右手の登山路に入ります。小谷に沿って緩やかな路を行くと「山頂まで 800m」という小さな標識を見ます。

さらに行くと路は谷を右に横切り階段を行くとすぐ急な岩壁になります。

ここを攀じ登り尾根に出て、ひたすら急な登山路を行きます。以前は急坂で厳しい登りでしたが、近頃は岩にステップが刻まれ、フックスロープが取り付けられてやや登り易くなっています。尾根に出ると眺望も開け、まず小松市の方面、やがて小松、江沼の平野が良く眺められるようになります。「山頂まで 300m」の標識を過ぎると急坂は終わり、なだらかな路となりますが、「山頂まで 200 m」の標識を過ぎると、やがて急坂となりやがて山頂です。急坂が多いのですが、良く整備されたコースです。

登山時間 登山口～（距離約 1.3Km・70 分）～鞍掛山山頂

「アクセス」西ノ谷コースと同じです。

## 〔 とのお送電線コース 〕

最近認定されたコースです。滝ヶ原西谷コースを左に見て林道を少し行き、右手の送電線巡視路に沿って行きます。途中送電線巡視路を外れ左に登ると、加賀とのお新道に出ます。加賀とのお新道を登り南峰（後山）を経て、鞍掛山山頂に行けます。滝ヶ原西ノ谷コースなどを經由して周遊できる楽しい路です。

## 〔 三童子山（492.8m・足谷コース）

### 三童子山～鞍掛山スカイライン 〕

三童子山は鞍掛山に連なる尾根上の山です。一向一揆の時、越前朝倉勢に対抗するため、三童子城が築かれていたそうです。平安時代山頂直下の黒岩の洞窟に3人の修行僧（童子）がいたことから付いた山名だと云われます。登山道は滝ヶ原の町から、まっすぐ道路を行き、主谷コースの登山口手前を左に入る足谷林道を行くと登山口があります。

車の駐車は、滝ヶ原の「石の里水と緑のふれあい公園」か、足谷林道入口が良いと思います。「ふれあい公園」から歩くと約2.5キロメートル、30分の林道歩きで登山口に着きます。

登山道は最初から急坂です。30分ばかり登ると、急坂は終わり大きな岩（黒岩）を見てなだらかな道を10分ばかり行くと三童子山山頂に着きます。

三童子スカイラインの縦走は、三童子山から南に幾つものコブを越えて1時間ほど行きますと、ルートは右手の大きな鞍部を通過し東に進みます。更に小さなコブを越えながら、主谷コース合流点、水谷コース合流点、展望岩を通過して行くと全コース約3時間で鞍掛山山頂に着きます。

標高500m前後の低山の縦走ですが、日帰りコースとして十分愉しめます。



三童子山から望むスカイラインと鞍掛山

## 鞍掛山の魅力



白山一望



日本海一望



山の学校 鞍掛山

「山の学校・鞍掛山」は平成 30 年から建設実行委員会を立上げ令和 2 年 10 月に谷本知事、福村県会議員を迎えて落成式を執り行いました。建設に伴い下記の整備等も実施しました。

- ① 施設内に四季の樹木などの花、実の写真展示
- ② 凝灰岩で制作した石造物「無事 カエル」設置
- ③ 白山眺望憩いの広場の整備
- ④ 鞍掛山頂上の方位盤の台座取り換え
- ⑤ 登頂記念スタンプの制作

今後も里山の豊かな自然と美しい風景の魅力をスポーツ・リズム活動を通じて発信し、未来への子供達へ地元文化の継承を進めます。



鞍掛山方位盤



鞍掛山「別名 舟見岳」由来碑





「山の学校 鞍掛山」内部



白山眺望憩いの広場の看板



白山眺望憩いの広場



鞍掛山十一面観音

平成 18 年 4 月 30 日故松下正信さんを偲んで設置





白山眺望憩いの広場の「無事カエル」



避難小屋 現在は「山の学校鞍掛山」と併設



獅子岩



加賀とのお新道（鞍掛山頂上）



後山頂上



小獅子岩（加賀とのお新道）





あせび台（加賀とのお新道）



加賀おもいやり橋（加賀とのお登山道）



鶴ヶ滝



行者岩





鞍掛山千手観音



仙人滝





鞍掛山とのお新道道標



鞍掛山とのお登山道道標



鞍掛山水谷登山道道標



鞍掛山中ノ谷登山道道標

鞍掛山を中心とした周辺の魅力



トンボの楽園

生き物の観察会ができるビオトープ



石の里水と緑のふれあい公園

夏には川遊びができるポケットパーク





しりさぎの神岩（主谷登山道沿い）  
岩の下には祠があり、パワースポットのところ



城戸の団子岩（主谷登山道沿い）  
禿ん谷の近くにある大岩で別名焼き飯岩ともいう





東口神社跡近くの「元気にカエル岩」  
1500 万年の歴史・礫質凝灰岩の自然美



西山の石切り場跡（日本遺産）



丸竹橋（日本遺産）

昭和 10 年 坂本竹次郎さんの寄贈



滝ヶ原八幡神社の大鳥居（石のレガシ・認定）

昭和 19 年 坂本竹次郎さんの寄贈



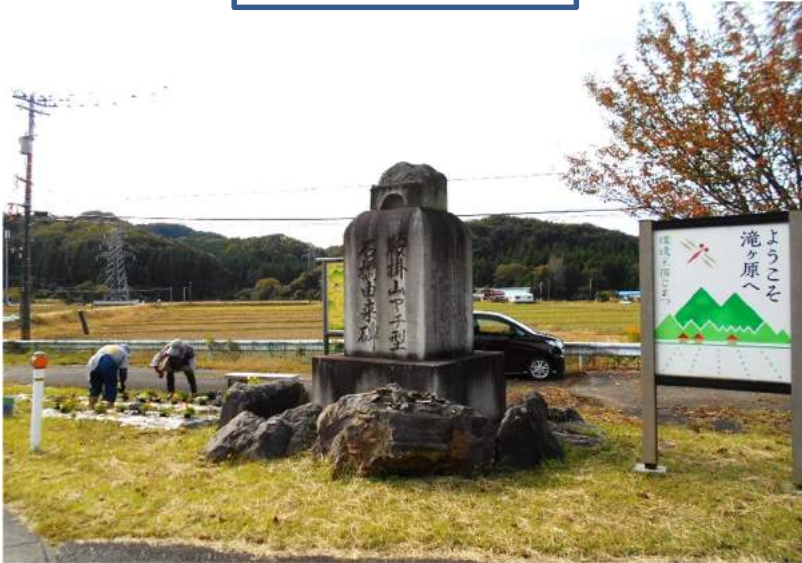
川岸の石切り場跡（滝谷 石のレガシ-認定）



八幡神社のヤグラ（遺跡）



## 滝ヶ原のシンボル



鞍掛山・ア-チ型石橋由来碑（滝ヶ原の凝灰岩）  
平成 24 年に完成した環境モニュメントで里山から  
SDG s を発信しよう

文言は（正面向かって右側の一面）

鞍掛山・三童子山から注ぐ水はア-チ型石橋に流れ、そして日本海を経て地球全体につながっています。滝ヶ原町では環境・景観を大切に、自然と共存、共生を全世界へ発信するため、この碑を設置します。

正面の形容は上は鞍掛山、その下はア-チ型石橋、文言部は地球を表し、左側の図柄はトンボや、ササユリ、ウサギ等彫刻されています



## 地域の周辺の巨木



神木の杉  
(牧神社跡、樹齢三〇〇年)

牧神社跡のスタジイ



円区のケヤキ(私有地)



円区のポプラ（私有地）



県道沿いのソメイヨシノ  
（昭和三四年植樹）



ふれあい公園のクワの木

鞍掛山周辺の動物



春の妖精、ギフチョウ

ホトケドジョウ  
(絶滅危惧種)



ハッチョウトンボ  
(オス)



ハラビロトンボ

アズマヒキガエルの産卵



カモシカ  
(特別天然記念物)





キジ  
(オス)



ニホンザル



ホンドタヌキ

## 鞍掛山周辺のキノコ



サマツ  
(早松・マツタケモドキ)



ホウキタケ  
(シロツボ、ネズミノアシ)



アミガサタケ



タマゴタケ



ヒトクチタケ



ツチグリ  
(星の形のキノコ)



鞍掛山付近の花（春～夏）



アセビ（ツツジ科）



ナツツバキ（ツバキ科）



ヒュウガミズキ（マンサク科）



ウツギ（ユキノシタ科）



イカリソウ（メギ科）



キブシ（キブシ科）





キンキマメザクラ (バラ科)



ヤブツバキ (ツバキ科)



ウワミズザクラ (バラ科)



オオガメノキ (スイカズラ科)



オオタチツボスミレ(スミレ科)



カンアオイ(ウマノスズクサ科)



キクザキイチリンソウ  
(キンポウゲ科)



キクバオウレン  
(キンポウゲ科)



クロモジ (クスノキ科)



コアジサイ (ユキノシタ科)



ガマズミ (スイカズラ科)



ササユリ (ユリ科)



ツルアリドウシ (アカネ科)



マルバマンサク (マンサク科)



タムシバ (モクレン科)



ショウジョウバカマ (ユリ科)



スイカズラ (スイカズラ科)



セントウソウ (セリ科)





ツクバネウツギ (スイカズラ科)



シャガ (アヤメ科)



ムラサキケマン (ケシ科)



ネコノメソウ (ユキノシタ科)



ソヨゴ (モチノキ科)



ヤブコウジ (ヤブコウジ科)





ネジキ (ツツジ科)



スノキ (ツツジ科)



タニウツギ(スイカズラ科)



ユキグニミツバツツジ(ツツジ科)



アケビ (アケビ科)



ツルシキミ (ミカン科)



シュンラン (ラン科)



ヤマボウシ (ミズキ科)



ホオノキ (モクレン科)



フジ (マメ科)



タカノツメ (ウコギ科)



ガンピ (ジンチョウゲ科)

秋 花と実



ミヤマママコナ(ゴマノハグサ科) ゲンノショウコ(フウロソウ科)



アキノキリンソウ (キク科)



クズ (マメ科)



ハギ (マメ科)



ノササゲ (マメ科)





アキギリ (シソ科)



サンインヒキオコシ (シソ科)



ホツツジ (ツツジ科)



ツルリンドウ (リンドウ科)



ミヤマフユイチゴ (バラ科)



ミズヒキ (タデ科)





コナラ (ブナ科)



ソヨゴ (モチノキ科)



ミズナラ (ブナ科)



ツルシキミ (ミカン科)



タムシバ (モクレン科)



アキシバ (ツツジ科)



エゾユズリハ (トウダイグサ科)



アケビ (アケビ科)



タカノツメ (ウコギ科)



ツルアリドウシ (アカネ科)



ヤブコウジ (ヤブコウジ科)



ナツハゼ (ツツジ科)



ミヤマフユイチゴ(バラ科)



コバノガマズミ(スイカズラ科)



ナナカマド (バラ科)



ヒメアオキ (ガリア科)



ナンキンナナカマド (バラ科)



ホツツジ (ツツジ科)



**全国鞍掛山交流登山の足跡**

| 名 称 | 標<br>高 | 住<br>所       | 登山年月日           | 参加<br>人員 |
|-----|--------|--------------|-----------------|----------|
| 鞍掛山 | 477.7  | 石川県小松市滝ヶ原町   |                 | —        |
| 鞍掛山 | 492m   | 栃木県宇都宮市      | 1999年 7/11      | 27 名     |
| 鞍掛山 | 188m   | 香川県綾歌郡綾南町    | 2000年 7/8       | 25 名     |
| 鞍掛山 | 897m   | 岩手県滝沢村       | 2001年 7/7       | 21 名     |
| 鞍掛山 | 883m   | 愛知県北設楽郡設楽町   | 2002年 5/18      | 18 名     |
| 鞍掛山 | 1004m  | 神奈川県足柄山下郡    | 2003年 7/5       | 16 名     |
| 鞍掛山 | 484m   | 秋田県大館市曲田     | 2004年 5/22      | 18 名     |
| 鞍掛山 | 322m   | 岩手県岩手郡西根町    | 2004 年 5/23     | 18 名     |
| 鞍掛山 | 629m   | 愛媛県八幡浜市と大洲市  | 2005 年/5/28     | 18 名     |
| 鞍掛山 | 795m   | 福島県郡山市中田町柳橋  | 2006 年 5/28     | 22 名     |
| 鞍掛山 | 2037m  | 山梨県北巨摩郡白州町   | 2007 年 5/26     | 18 名     |
| 鞍掛山 | 248m   | 茨城県日立市       | 2008 年 7 月 5 日  | 18 名     |
| 鞍掛山 | 742m   | 宮崎県西臼杵郡高千穂町  | 2009 年 5 月 23 日 | 18 名     |
| 鞍掛山 | 89m    | 秋田県仙北郡仙南村    | 2012 年 7 月 7 日  | 16 名     |
| 鞍掛山 | 807m   | 山形県西置賜郡小国町   | 2015 年 5 月 20 日 | 2 名      |
| 鞍掛山 | 716m   | 埼玉県秩父郡両神村    | 2013 年 7 月 7 日  | 19 名     |
| 鞍掛山 | 1122m  | 新潟県北魚沼郡入広瀬村  | 2014 年 7 月 5 日  | 17 名     |
| 鞍掛山 | 691m   | 福井県丹生郡織田町    | 2011年 5 月 28 日  | 18名      |
| 鞍掛山 | 348m   | 山口県美祢郡美東町    | 2016 年 7 月 2 日  | 16 名     |
| 鞍掛山 | 240m   | 山口県玖珂郡玖珂町    | 2010 年 5 月 29 日 | 20 名     |
| 鞍掛山 | 192m   | 長崎県平戸市 平戸島北部 | 2017 年 7 月 1 日  | 17 名     |



## 里山自然学校こまつ滝ヶ原

「里山自然学校こまつ滝ヶ原」は廃校となっていた那谷小学校滝ヶ原分校と滝ヶ原保育所を再活用して平成 23 年 7 月 9 日にプレオープンし、平成 26 年 8 月 9 日に本格オープンしました。

「里まなび 山あそび」をテーマに活動を実施

1. 豊かな自然と美しい農村風景が残る里山の魅力を発信
2. 交流人口の拡大
3. 里山から創造未来、里山の環境保全と地域 振興
4. 心に残る原風景を未来の子供たちに伝える
5. 里山の歴史・自然・文化を体験して、魅力を伝える



里山自然学校  
こまつ滝ヶ原

自然学校体験教室



## 滝ヶ原町鞍掛山を愛する会の主な活動 25 年間

### 背景

平成 8 年に鞍掛山を中心に環境保護、定期登山やボランティア活動を行い、自然豊かな町を全面に打ち出し町の活性化に繋げる機運が盛り上がり、平成 9 年 3 月「滝ヶ原町鞍掛山を愛する会」が発足した。

### 目的

昔から親しんできた鞍掛山の自然環境と景観を守り、地域社会に寄与することを目的とする。

### 主な活動歴

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 平成 9 年  | 山開き安全祈願祭開始          |
| 平成 10 年 | 登山道の環境整備作業開始        |
| 平成 10 年 | 鞍掛山健康登山開始           |
| 平成 11 年 | 全国鞍掛山交流登山開始         |
| 平成 11 年 | トンボの楽園（ビオトープ）整備作業開始 |
| 平成 13 年 | 行者岩登山道開設            |
| 平成 14 年 | 鞍掛山千手観音設置           |
| 平成 15 年 | 全国鞍掛山サミットin小松開催     |
| 平成 18 年 | 鞍掛山 11 面観音設置        |
| 平成 24 年 | 鞍掛山・ア・チ型石橋由来碑設置     |
| 平成 25 年 | 鞍掛山登山ガイド養成講座開始      |
| 平成 29 年 | 20 周年記念式典開催         |
| 令和 1 年  | 鞍掛山（別名 舟見岳）由来碑設置    |
| 令和 2 年  | 「山の学校 鞍掛山」完成        |
| 令和 3 年  | 水谷登山道・中ノ谷登山道の石の道標完成 |

鞍掛山を楽しむ  
「自然と文化」

発行 2022 年 2 月 11 日

編者 真栄 隆昭

山下 豊

発行者 里山自然学校こまつ滝ヶ原  
滝ヶ原町鞍掛山を愛する会

印刷 深田印刷